

わたしのすきな絵本

「今月の一冊 ～わたしのすきな絵本～」(2月)

<ご紹介者>

矢祭町長 佐川 正一郎

矢祭町子ども読書の街づくり推進委員会委員長



子どもに伝えたい春・夏・秋・冬

『和の行事を楽しむ絵本』

和文化研究家 三浦康子 著／かとうゆーこ 絵／ 永岡書店

対象：幼児から高齢者まで

<表紙が新しくなりました。>

(旧)



(新)



今月ご紹介する絵本は、第1回の絵本コンクール最優秀賞者のかとうゆーこさんです。現在、プロの絵本作家として活躍しています。子どもの成長を願う日本文化を大切に伝える本です。この本を読むと、私達日本人が忘れてしまった事に気付きます。四季折々の文化伝統は地域の絆になり、人々を心豊かにし、元気にします。

このような文化があって人々は成長して、社会を創ってきました。この本から“行事育”という言葉を知りました。

是非、家庭に置いてほしい絵本です。

内容のご紹介

どうしてひな祭りをするの？

「こどもの日」は、男の子だけのお祝いなの？ 和の行事には、子育てに役立つ知恵がたくさん詰まっています！ 子どもが生まれると、日本の行事にふれる機会が増えませんか？ その理由は、日本の行事は家族の幸せを願う気持ちを形にしたものだから。

本書は、お正月やひな祭り、お花見、お盆、お祭りなど、季節の行事の楽しみ方を親子でいっしょに学べる絵本です。また、行事の由来やしきたり、遊び方や箸の持ち方、衣服のたたみ方など、行事を子育てに役立てるためのコツを、豊富なイラストでわかりやすく紹介しています。

紹介文：永岡書店／絵：かとうゆーこさんは、手づくり絵本コンクール第1回一般の部最優秀賞受賞者／矢祭もったいない図書